平成28年度

工 事 監 査 報 告 書

君 津 市 監 査 委 員

２９君監第３０号
平成２９年６月１日

君津市長職務代理者
君津市副市長　　石　井　清　孝　様

君津市監査委員　　鴇　田　源　一

君津市監査委員　　髙　橋　喜　和

君津市監査委員　　三　浦　　章

工事監査の結果について

地方自治法第１９９条第５項の規定に基づき、工事監査を実施したので、

その結果を同条第９項の規定により、次のとおり提出します。

工事監査報告書（土木工事）

第１　監査の概要

１　監査の対象

（1）工　事　名　　市道山滝野・大坂線道路改良工事（山滝野地先）
（2）工事内容　　土工、植生工、路床安定処理工、排水構造物工、舗装工（車道部・歩道部）、区画線工
（3）対象所属課　　建設部土木課、総務部管財課
（4）対象請負業者　株式会社　川名工務店

２　監査実施日　　平成２９年２月２０日（月）

３　監査の場所　　君津市役所４階監査室、上総地域交流センター会議室 及び工事施工現場

４　監査の主眼及び方法

工事監査は、工事の計画、設計、積算、施工等が適正に行われているかを主眼として、技術的な視点から監査を実施した。

また、この監査は専門的知識を必要とするため、特定非営利活動法人建設技術監査センターに委託し、派遣された技術士の主導により関係職員から工事概要等の説明を受け、設計図書及び現場の施工状況等の具体的事項について、監査委員の立会いのもとで実施した。

第２　工事の概要

１　工事概要

（1）場　　所　　君津市山滝野地先
（2）工事延長　　Ｌ＝540.0m　車道幅員　W＝6.0m（総幅員＝11.0m）

２　契約内容等

（1）契約方法　　制限付き一般競争入札（６社）
（2）契約金額　　６４，６９６，３２０円(税込)
（3）契約年月日　　平成２８年８月９日
（4）工　　期　　平成２８年８月１０日～平成２９年３月２４日
（5）請負業者名　　株式会社　川名工務店

３　工事の内容

（1）土　木　工　　掘削　V＝1,160 ㎥ 、床掘工　V＝140.0 ㎥、埋戻工＝V＝210.0 ㎥
（2）植　生　工　　張芝　A＝190.0 ㎡
（3）路床安定処理工　　安定処理　A＝3,500 ㎡
（4）排水構造物工　　千葉県型側溝　CH25　L＝386.0m、CH1　L＝214.0m
（5）舗　装　工
　ア　車道部　　路盤工（下層、上層）　　A＝3,580 ㎡
　　表層（再生密粒As13）　A＝1,210 ㎡

イ　歩 道 部　　透水性舗装工
フィルター層　A＝758.0 ㎡、上層路盤　A＝758.0 ㎡、
表層　　A＝758.0 ㎡
（6）区 画 線 工　　実線（W＝15㎝）　L＝360.0m、　破線（W＝15㎝）　L＝ 90.0m

第３　監査の結果

本対象工事について、書類審査及び工事施工現場の確認を実施したところ、適切性、妥当性及び適合性について全体として良好であると認められた。

また、本対象工事については、２９年度への繰越事業となってしまったが、安全に施工し、早期に完了されるよう望むものである。

なお、技術士からの提言事項については、今後実施される工事において十分に留意されたい。

以下、特定非営利活動法人建設技術監査センターの工事等技術調査報告書から抜粋

1　工程管理

工期設定は、積み上げて設定しているが、現時点での工程進捗は5%と大幅に遅れている。
遅延理由は、関連工事である水道埋設管移設工事の四者協議を行って本工事を発注したにも拘らず遅延したことである。この時点での判断が、水道部との協議により、同時施工を考えて発注した点にある。そして、担当課、施工者が同席しての会議は、平成28年9月1日であり、本工事発注後に会議を行っている。従って、本工事発注段階では全体工程の計画に無理があったと判断する。実際に、埋設管設置位置、規制延長が長くなること、工事が錯綜することによる安全確保等の事由により同時施工が難しくなった。関連工事を含めた全体工事工程の取り組みが重要である。

2　関連工事の協議

本工事の遅延は、前項においても述べたが、関連する協議の適切なタイミングを逸したところにある。それに加えて水道管移設工事の遅れが本工事の遅れに繋がった。年度を跨る工期の延期は多大なロスが発生する。四者協議の適切なタイミングも含めてフォローアップに問題がなかったか検証し、今後の工事発注段階の対応に配慮する必要がある。

3　工事記録の作成

提示された施工管理体制には、発注者の記載がなく、工事管理を確実に推進する監督員の位置づけが明確になっていない。発注者の重要な書類として発注者の施工管理体制について作成されたい。

また、工事打合記録簿の記載は、協議内容、技術的な検討内容等が記載され、記録として内容が理解できるような内容であることが望まれる。

4　現場における安全施工

現場での施工状況を確認し、片側交互交通規制においてバックホーによる排水側溝掘削工を施工していた。その規制区間でのバリケードの転倒状況及び平行して設置している張り綱が緩んでいる状況を確認した。また、夜間の照明確保に配慮しているかは確認できなかった。施工者の安全及び現道交通に対する安全に配慮した施工が望まれる。